

事業報告(要旨)

(平成 19 年 4 月 1 日から平成 20 年 3 月 31 日まで)

1. 株式会社の現況に関する事項

(1) 事業の経過及び成果

当年度における経済情勢は、国内全般では、堅調な企業業績を背景に民間設備投資の増加など緩やかな改善傾向が見られましたが、年度後半からはサブプライムローン問題に端を発した米国経済の減速懸念や原油・原材料価格の高騰による消費者物価の上昇、大幅な円高・株安の進行などマイナス要因が顕在化し、景気の先行きに不透明感が広がっている状況であります。道内経済においても、有効求人倍率や最低賃金等の面で全国平均と比較して低水準で推移するなど雇用・所得環境は改善されておらず、さらに需要期における灯油価格上昇の影響により個人消費も抑制基調で推移するなど、総じて厳しい局面が続いております。

このような情勢のなかで、当社は主要な事業であるショッピングセンター(SC)事業、ホテル事業、その他事業(土地賃貸事業、バスターミナル事業、その他付帯施設事業等)について、当年度の経営目標として「賃貸料収入等の改善に努め、今後の施設の適正な維持管理のために必要な財務基盤の強化を図る」ことを掲げ、各種の施策に取り組んでまいりました。SC事業では、開業 30 周年記念事業として全館を挙げて販促イベント事業や施設のリフレッシュなどを実施するとともに、新規テナントの誘致ならびに空き区画解消対策の強化、退店その他減収リスクの改善、劣化した施設や設備の効果的な修繕・整備などに取り組み、関連事業部門のホテルや駐車場などにおいても増収対策とコストの削減、サービス面の強化に努めてまいりました。

その結果、当年度の業績は、収入面では、既存テナントの退店や条件変更などによる減収があったものの、新規テナントの入店や前年のデュオSCリフレッシュ効果等による賃貸料収入・管理費収入の増収が貢献し、売上高は対前年度比 11 百万円増の 4,610 百万円となりました。一方、支出面では、売上原価が重油価格の高騰による水道光熱費の増加、SC施設の外壁補修など修繕整備費の増加、税制改正に伴う減価償却費の増加等により、前年度を大きく上回り、その結果、経常利益は対前年度比△69 百万円減の 185 百万円となり、前年度対比では増収減益となりました。

(2) 財産及び損益の状況の推移

年度 項目	平成 16 年度 第 31 期	平成 17 年度 第 32 期	平成 18 年度 第 33 期	平成 19 年度 (当期)第 34 期
売上高(百万円)	4,560	4,543	4,599	4,610
経常利益(百万円)	370	375	254	185
当期純利益(百万円)	207	△58	169	117
1 株あたり当期純利益	119 円 41 銭	△33 円 41 銭	97 円 23 銭	67 円 72 銭
総資産額(百万円)	29,076	27,887	27,605	27,103
純資産額(百万円)	10,118	10,060	10,229	10,346
1 株あたり純資産額	5,814 円 99 銭	5,782 円 17 銭	5,879 円 07 銭	5,946 円 47 銭

(3) 重要な親会社及び子会社の状況

① 重要な親会社の状況

該当事項はありません。

② 重要な子会社の状況

会社名	資本金	議決権比率	主要な事業内容
アーク開発振興(株)	17,165 万円	46.60%	ビルメンテナンス受託業務他
(株)アークホテルシステム	2,000 万円	100.00%	ホテルの管理運営業務
(株)新さっぽろパーキングシステム	2,000 万円	100.00%	駐車場の管理業務

(4) 主要な事業内容

① S C 事業

札幌副都心開発の一環として建設した S C 3 棟（サンピアザ、デュオ 1、デュオ 2）の賃貸・管理・運営ならびに S C 付帯の駐車場 5 ヶ所（サンピアザ屋上、デュオ立体、北、東、南駐車場）の管理・運営

② ホテル事業

デュオ 1 ビル内に設置の都市型ホテル（新さっぽろアークシティホテル）の管理・運営

③ その他事業

高層ホテルビル（シェラトンホテル札幌）・オフィスビル（(株)ドーコン）に係る土地賃貸事業、「新札幌バスターミナル」の管理・運営、「新さっぽろデュオカルチャースクール」の管理・運営、「サンピアザ劇場」の管理・運営、その他付随する事業

(5) 主要な事業所

名称	所在地	開設日
新さっぽろアークシティ「サンピアザ」 S C	札幌市厚別区	昭和 52 年 6 月 10 日
新さっぽろアークシティ「デュオ 1」 S C	札幌市厚別区	平成 2 年 6 月 1 日
新さっぽろアークシティ「デュオ 2」 S C	札幌市厚別区	平成 4 年 6 月 5 日
新さっぽろアークシティホテル	札幌市厚別区	平成 2 年 6 月 6 日

2. 会社の株式に関する事項

(1) 株式数

- ① 発行する株式の総数 2,800,000 株
- ② 発行済み株式の総数 1,740,000 株

(2) 株主数 20 名

(3) 発行済み株式の総数の10分の1以上の株式を保有する株主を含む大株主の状況

大株主名	持株数	出資比率
札幌市	600,000 株	34.5%
日本政策投資銀行	340,000 株	19.5%
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	160,000 株	9.2%
ノースパシフィック株式会社	113,000 株	6.5%
株式会社北洋銀行	87,000 株	5.0%
株式会社北海道銀行	80,000 株	4.6%
株式会社みずほ銀行	80,000 株	4.6%

3. 会社役員に関する事項

取締役及び監査役の氏名等(当年度末現在)

地位及び担当	氏名	他の法人等の代表状況又は兼職状況
代表取締役社長	片桐 政美	(株)新さっぽろパーキングシステム代表取締役社長 (財)さっぽろ副都心社会文化財団理事長
代表取締役専務	小山 昭博	アーク開発振興(株)代表取締役社長
代表取締役専務	鈴木 勝幸	(株)アークホテルシステム代表取締役社長
取締役	荒川 正一	札幌市都市局長
取締役	荒木 啓文	札幌商工会議所常務理事
取締役	奥田 恵司	(株)北海道銀行常務執行役員
取締役	檜森 聖一	(株)北洋銀行常務執行役員
取締役	福永 法弘	日本政策投資銀行北海道支店長
常勤監査役	須藤 修作	
監査役	越前谷正俊	北海道瓦斯(株)常勤監査役
監査役	得能 毅	北海道電力(株)常任監査役

4．会計監査人の状況

(1) 会計監査人の名称 新日本監査法人

(2) 当該事業年度中に辞任又は解任された会計監査人に関する事項
該当事項はありません。

5．業務の適正を確保するための体制

当社は、平成 18 年 6 月 8 日開催の取締役会において、内部統制システムの整備に関する基本方針を決議しております。

以上